

# 第1回市議会定例会

# 平成12年度予算可決

# 市長の市政方針

文化・環境・福祉

# かすがい

市議会だより

## 主な内容

第1回定例会 .....	2～3P
代表質問 .....	4～5P
一般質問 .....	6～7P
請願の審議結果など .....	8P



KASUGAI CITY COUNCIL

2000.5 第 8 号

市議会だよりは、環境保護のため再生紙を使用しています。

内々神社  
(かすがい百景より)

# 文化、環境、福祉にきめ細かな施策 平成12年度予算案など51件を可決、人事案件3件に 同意・了承

## 平成12年 第1回定例会

平成12年第1回定例会は、2月29日から3月21日までの22日間の会期で行われました。開会日の2月29日に平成12年度の市長市政方針説明、3月2日には4会派による代表質問が行われ、それぞれ市長より答弁がありました。

定例会には、補正予算案6件、当初予算案14件、条例案27件など54件が提出され、すべての議案を原案どおり可決、同意しました。

### 補正予算

総額25億3492万9000円の補正予算を議決しました。内訳は、一般会計補正額15億7226万9000円、国民健康保険事業特別会計補正額7億3766万円、老人保健医療事業特別会計補正額1億6500万円、勝川駅周辺総合整備事業特別会計補正額6000万円です。一般会計補正の主な内容は、介護円滑導入基金積立金、私立保育園施設整備補助費、乳幼児と母子家庭などの受給者増加に伴う扶助費です。特別会計補正のうち、国民健康保険と老人保健医療は、医療費の増加による

ものです。勝川駅周辺総合整備事業は、移転補償です。

### 当初予算

総額1512億2013万2000円の平成12年度当初予算を議決しました。内訳は、一般会計予算718億3000万円、特別会計では交通災害等共済事業に5883万7000円、公共用地先行取得事業10億9156万6000円、国民健康保険事業172億1571万3000円、老人保健医療事業167億1285万5000円、介護保険事業57億5962万8000円、介護サービス事業3億8503万8000円、民家防音事業3億4875万円、潮見坂平和公園事業4億4574万5000円、松河戸土地地区画整理事業13億2143万3000円、勝川駅周辺総合整備事業25億4061万円、公共下水道事業98億8144万2000円の合計57億611万7000円です。企業会計は、市民病院事業161億7957万2000円、水道事業74億4894万3000円の合計236億2851万5000円です。その主な内容は、一般会計では、高齢者や障害者の方に対する保健・福祉サービスの充実を

図り、平成14年開校予定の柏原小学校分離校建築に着手し、ISO14001の認証取得に伴う環境マネジメントシステムを推進します。また、JR春日井駅北口に自転車駐車場整備や継続したクリーンセンター整備、資源分別回収などの充実を図る内容となっています。

特別会計では、新たに介護保険事業、介護サービス事業が加えられる体制となり、国民健康保険事業では、税率を改定するなどの見直しをして医療費の増加に備えます。公共下水道事業では老朽化した高蔵寺第1中継ポンプ場整備や面整備をするなどです。

企業会計では、水道事業は、高蔵寺ニュータウン水道事業の統合で給水人口の増加を見込んだもの、病院事業は、患者数の増加を見込んだ内容です。



リフト付き送迎バス

### 条例

介護保険条例  
介護円滑導入基金条例  
介護給付費準備基金条例  
介護サービスセンター条例  
春日井市における介護保険事業に関して、必要な各条例を制定するものです。

市立学校設置条例の一部を改正する条例

柏原小分離校の名称を「丸田小学校」と決定する条例です。

私立高等学校授業料の補助に関する条例の一部を改正する条例補助の対象となる区分を細分化して充実する改正です。

国民健康保険税条例の一部を改正する条例

国保税の応益割部分の引き上げと、新たに介護納付金課税額を決めるものです。

水洗便所改造資金貸付条例の一部を改正する条例

改造工事費が値上がりしていることもあり、公共下水への加入促進を図るための改正です。

その他

法律の改正に伴う用語の改正  
地方分権の推進に伴う条例改正  
交通災害等共済掛金の改定、市職員定数条例の改正など19件の条例の制定、改正です。

# 第 1 回 定 例 会

## 上 程 議 案 と 審 議 結 果

### 補正予算.....6件

平成11年度一般会計補正予算.....	原案可決 (全会一致)
平成11年度国民健康保険事業特別会計補正予算.....	原案可決 (全会一致)
平成11年度公共下水道事業特別会計補正予算.....	原案可決 (全会一致)
平成11年度老人保健医療事業特別会計補正予算.....	原案可決 (全会一致)
平成11年度勝川駅周辺総合整備事業特別会計補正予算.....	原案可決 (全会一致)
平成11年度水道事業会計補正予算.....	原案可決 (全会一致)

### 当初予算.....14件

平成12年度一般会計予算.....	原案可決 (賛成多数)
平成12年度交通災害等共済事業特別会計予算.....	原案可決 (賛成多数)
平成12年度公共用地先行取得事業特別会計予算.....	原案可決 (全会一致)
平成12年度国民健康保険事業特別会計予算.....	原案可決 (賛成多数)
平成12年度老人保健医療事業特別会計予算.....	原案可決 (全会一致)
平成12年度介護保険事業特別会計予算.....	原案可決 (全会一致)
平成12年度介護サービス事業特別会計予算.....	原案可決 (全会一致)
平成12年度民家防音事業特別会計予算.....	原案可決 (全会一致)
平成12年度潮見坂平和公園事業特別会計予算.....	原案可決 (全会一致)
平成12年度春日井都市計画松戸土地区画整理事業特別会計予算.....	原案可決 (全会一致)
平成12年度勝川駅周辺総合整備事業特別会計予算.....	原案可決 (賛成多数)
平成12年度公共下水道事業特別会計予算.....	原案可決 (賛成多数)
平成12年度春日井市民病院事業会計予算.....	原案可決 (賛成多数)
平成12年度水道事業会計予算.....	原案可決 (賛成多数)

### 条 例.....27件

文化振興基金条例を廃止する条例.....	原案可決 (全会一致)
交通災害等共済条例の一部を改正する条例.....	原案可決 (全会一致)
市政功労者表彰条例等の一部を改正する条例.....	原案可決 (全会一致)
手数料条例.....	原案可決 (全会一致)
職員定数条例の一部を改正する条例.....	原案可決 (賛成多数)
特別会計設置に関する条例の一部を改正する条例.....	原案可決 (全会一致)
使用料および手数料条例の一部を改正する条例.....	原案可決 (全会一致)
平成12年度における固定資産税及び都市計画税に係る第1期の納期の特例に関する条例.....	原案可決 (全会一致)
市税還付金等繰替基金条例の一部を改正する条例.....	原案可決 (全会一致)
火災予防条例の一部を改正する条例.....	原案可決 (全会一致)
市立学校設置条例の一部を改正する条例.....	原案可決 (全会一致)
私立高等学校授業料の補助に関する条例の一部を改正する条例.....	原案可決 (全会一致)
商工業振興条例の一部を改正する条例.....	原案可決 (全会一致)
国民健康保険条例の一部を改正する条例.....	原案可決 (全会一致)
国民健康保険税条例の一部を改正する条例.....	原案可決 (賛成多数)
介護円滑導入基金条例.....	原案可決 (全会一致)
介護給付費準備基金条例.....	原案可決 (全会一致)
介護保険条例.....	原案可決 (全会一致)
介護サービスセンター条例.....	原案可決 (全会一致)
社会福祉施設条例の一部を改正する条例.....	原案可決 (全会一致)
都市計画審議会条例の一部を改正する条例.....	原案可決 (全会一致)
道路占用料条例の一部を改正する条例.....	原案可決 (全会一致)
河川等公共用物の管理に関する条例の一部を改正する条例.....	原案可決 (全会一致)
児童遊園の設置および管理に関する条例の一部を改正する条例.....	原案可決 (全会一致)
水洗便所改造資金貸付条例の一部を改正する条例.....	原案可決 (全会一致)
準用河川占用料条例.....	原案可決 (全会一致)
助役及び教育長の給与の特例に関する条例.....	原案可決 (全会一致)

### 一般議案.....3件

市道路線の廃止.....	原案可決 (全会一致)
市道路線の認定.....	原案可決 (全会一致)
損害賠償の額の決定.....	原案可決 (全会一致)

### 人事案件.....3件

固定資産評価審査委員会委員の選任の同意.....	同 意 (全会一致)
人権擁護委員の推薦.....	異議なし (全会一致)
人権擁護委員の推薦.....	異議なし (全会一致)

### 議員提出議案...1件

市議会委員会条例の一部を改正する条例.....	原案可決 (全会一致)
-------------------------	-------------

## 一 般 議 案

市道路線の廃止・認定

愛知県企業庁が施行している

明知地区内陸用地造成事業など

の整備により4路線を廃止し、

同事業及び開発行為に伴う寄附

採納などにより12路線が認定さ

れました。

## 人 事 案 件

人事案件3件に同意・了承

固定資産評価審査委員会委員

に中山茂氏の選任に同意しまし

た。

また、人権擁護委員に水野壽

貴子氏、鈴木信子氏の推薦に異

議なく了承しました。

## 選 挙

春日井市選挙管理委員会委員

に丹羽照邦氏、毛利元孝氏、小

澤淑子氏、津田信夫氏が、指名

推選により当選されました。

同補充員に打田孝雄氏、水野弘

夫氏、松本能子氏、伊東義弘氏が、

指名推選により当選されました。

## 議 員 提 出 議 案

市議会委員会条例の一部を改正

する条例

地方自治法が一部改正された

ことに伴い、規定を整備するも

ので、春日井市議会委員会条例

第19条中「法令又は条例」を「法

律」に改正するものです。

# 市政方針に対し見解を求める

代表  
質問

3月2日、会派代表者が2月29日に行われた市長の市政方針説明に対し、代表質問を行いました。

(各会派の質問と市長の答弁を、要旨で掲載しております)

自民クラブ

市民連合

## 21世紀のまちづくりを問う

【質問】市長は、21世紀を心の豊かさが求められる成熟社会とし、まちづくりのキーワードを「文化・環境・福祉」であると述べられているが、その時代認識と21世紀のまちづくりに対する基本的な考え方について問う。

【答弁】新しい時代21世紀は、これまでの物の豊かさから、文化、環境、福祉など、心の豊かさを求められる時代となつてい

くと考えています。地方行政にとって大変厳しい状況下にありますが、地方分権の時代を迎えた今日、市民協働のまちづくりなど時代の潮流を的確にとらえ、確かな先見性を持ちながら諸施策に取り組んでまいります。

## 予算編成の考え方を問う

【質問】国・地方を取り巻く厳しい財政環境のなかで、平成12年度予算編成にあたり、本市の財政状況と予算編成に係る基本的な考え方と、固定資産税の評価替えの年であるが、土地が下落しているなか、前回に比べ変化はあるか問う。

【答弁】長引く不況や制度減税により大幅な財源不足が見込まれますが、福祉、環境、地方分権などの諸施策や、生活関連施設の整備のため財源の確保に努めてまいります。また、平成12年度評価替えについては、地価の下落傾向が続くなか、平成11年度の課税毛地面積の一割強が固定資産税の特例措置の適用を受けると見込んでいます。

## 行財政の真の簡素化と効率化を問う

【質問】行財政改革の推進は、緊急かつ重要な課題である。当市独自の行財政の再構築を目指し、新たな発想や切り口を変え、民間企業の経営手法の良いところを取り入れ、行財政の真の簡素化と効率化に、どう取り組みどう報告するのか。

【答弁】第3次行政改革大綱に基づき、事務事業評価システムの構築、組織の再編と定員管理の適正化、情報公開条例の制定を始めとする行政の透明性の向上を柱とした実施計画を策定しました。この計画に基づき、簡素で効率的な行財政運営を図っていくとともに、その状況については随時、議会、市民の皆さんにお知らせしてまいります。

## 児童育成計画の策定について問う

【質問】子育て支援事業の指針となる児童育成計画の策定について、男女共同参画社会の形成に向け、時代のすう勢を勘案し

次世代が安心して子供を産み育てられる環境の整備が重要で、当市は、どのような特色と個性がある考えで進めるのか。

【答弁】近年、子どもたちを取り巻く環境が大きく変化していることから、「児童育成計画」を見直してまいります。特に、乳児保育、延長保育など、保育サービスへの拡充に努めるとともに、保育園の園庭・ホールを地域の皆さんに開放するなど、子育て支援事業を進めてまいります。



### 市内バス交通対策を問う

【質問】高齢化社会に対応し、きめ細かな移動手段が必要だ。市民のため多くの施設は整備されたが交通アクセスの整備が求められている。平成13年度よりバス事業の自由化が施行されるが、調査研究の内容と方向性について問う。

【答弁】バス交通は、高齢者の大切な移動手段であり、バス路線の規制緩和をにらみながら、その公共性を考慮するなかで、利用状況や利用見込みの把握に努め、現在運行中の民間事業者による路線バス、市内循環バス、施設連絡バスに加え、各自治体で始まっているコミュニティバスも視野に入れ、平成14年度の事業化に向けて、調査研究してまいります。

### 資源・エネルギーの有効利用を問う

【質問】資源を有効に再利用また、新しく開発する必要がある。地球温暖化などを考慮し環境負



荷が小さく、探せばどこにも潜在する自然エネルギー、さらにバイオを取り入れた資源など地域環境と共存できる循環型社会形成の所見を問う。

【答弁】資源やエネルギーの有効利用については、太陽光発電システムの設置に対する助成や第三介護サービスセンター等の公共施設に導入するなど積極的に進めております。今後とも、ごみ焼却における廃熱利用などを始め、他のエネルギーの有効利用についても研究してまいります。

### 愛知万博計画を問う

【質問】2005年に開催を予定している愛知万博計画に、国内外からの批判が高まっている。BIE（博覧会国際事務局）も「20世紀型の開発至上主義の産物」と指摘している。市長は、現在の万博計画をどうとらえているか。

【答弁】愛知万博そのものの開催の是非については、市長としての見解を述べるべき問題ではないと考えております。「自然の叢智」をテーマとする博覧会については、多くの市民の皆さんが大きな関心を持っておられます。今後とも、開催に向けては、協力していくという方針に変わりはありません。

### 平和行政を問う

【質問】防衛庁は、航空自衛隊小牧基地のC130Hすべてが同時に運用できるように計画を進めている。そうすると、離発着回数が増え、騒音問題、事故の可

能性も増える。明らかに、基地機能強化であり、計画に反対すべきだ。

【答弁】今回の配備計画により、C130Hの訓練飛行が増加し、騒音被害が拡大することがないよう、併せて安全飛行の徹底を図るよう、防衛庁に対し強く申し入れを行ってきております。今後とも、自衛隊の小牧基地を取り巻く問題については、必要に応じて強力に要請してまいります。



一般質問

# 市政全般にわたる問題について質問します

3月16日、11名の議員が市当局に施策・事業等の現況や将来計画など、市民に密着した問題をたずため、一般質問を行いました。  
各議員の質問と当局の答弁を、要旨で掲載しました。

(一般質問については、質問者から提出された原稿で掲載しております)

## 環境問題について

【質問】雨水は処理の仕方によって洪水にもなり、貴重な資源にもなる。雨水を貯留することによって非常時の防火、雑用水などの応急水や散水、洗車にも利用できる。洪水防止のためにも貯留タンクに補助金を出しても奨励すべきだ。

【答弁】雨水の有効利用を図る目的で、雨水タンク設置補助金交付制度を設けている自治体もありますが、これらの多くは、庭木への散水などに利用されているものであり、衛生管理等の課題があると考えますので、浸透枳等の設置の推進を含め、さらに調査研究してまいりたいと考えております。

## 行政評価システムの導入について

【質問】効率的な行政の展開と政策選択の最適化が図られ、事業を指標化、数値化する「自治体経営」として大きな要素をもち、行政改革の手法となっている「行政評価システム」の導入について、本市の対応と取り組みを問う。

【答弁】行政評価は、地方分権行政改革等の課題に対して、有効なツールになり得ると認識し

ています。現在、標準的な評価システムが構築されておらず、必ずしも一環した手法が編み出されていないため、今後、本市としては、煩雑でなく、かつ実効性がある行政評価システム構築について、調査研究を進めてまいります。

## コンピュータ西暦2000年問題について

【質問】本問題で起因する市民日常生活に直結をする、金融・エネルギー・交通・医療など誤作動の未然防止への対策と日数・人員・費用。大みそかから正月にかけて体制など市民安全確保への市の対応と結果について問う。

【答弁】昨年10月に市長を本部長とした西暦2000年問題対策本部を設置し、危機管理計画を策定しました。年末年始は、総勢556人の24時間体制で対応、システム対応費用は8400万円。結果としてコンピュータによる誤作動はありませんでした。

## 勝川駅連続立体化工事について

【質問】明治33年の開業から100年目を迎えるJR勝川駅。高架工事が進むなか、プラットホーム中央部にある当時のなごりの

赤れんがと、樹齢約50年の老桜を、祖先が残してくれた貴重な遺産として惜しむ声が強く、残せないかを問う。

【答弁】開業当時から遺産としては、ホームの赤れんがだけと思われま。再利用については、相当劣化していると想定され、うまく取り外せるかどうかわかりませんが、何らかの形は残したいと思えます。桜の木については、高齢樹でもあり移植は困難と聞いており、新たに若木を植えてはどうかと考えています。



## アレルギー性疾患対策事業について

【質問】現代の国民病といわれるアレルギー性疾患は、原因の特定が難しく、症状を軽くするしか対策のとりのようがない。現状と対応、相談窓口体制、アレルギー科の新設。廃食用油のデイズルエンジン燃料化について問う。

【答弁】患者の増大が予想されるなか、乳幼児健診や健康相談で対応するとともに、新たに専任相談員による総合健康相談窓口を開設し対応してまいります。

## 工事契約における入札について

【質問】昨年10月から2月に実施された工事契約の指名競争入札を分析した結果、予定価格に対する96・6%の高値落札と業者の片寄りが判明した。予定価格設定の考え方、業者登録の基準、業者指名の基準を問う。

【答弁】予定価格は、発注時の経済情勢、施工の難易度等を勘案し、設計金額以内で設定しており、高値落札との認識はありません。業者登録の基準は、法に基づいた許可通知書等の提出を求めている、市独自の基準は定めておりません。業者指名は、指名業者等選定要領に基づき入札業者審査委員会において適正な業者を選定しております。

## 熊野桜佐地区開発について

【質問】熊野桜佐地区の都市整備事業は、土地区画整理組合による開発手法により、事業が計画されているが、篠木下水処理場、生目橋周辺の改良事業など関連事業との整合性、市街化区域編入についての見通しについて問う。

【答弁】熊野桜佐地区については、環境影響評価法施行による新たな調査項目の追加などにより、市街化編入は平成12年度以降になります。早期の編入が可能となるよう、関係当局に働きかけてまいります。閑田踏切の立体化は、これまでも重要な課題として、県に対し要望してきています。今後も、県との協議・調整を図り、地元の理解、協力のもと、早期実現に向け努力してまいります。また、篠木浄化センターについては、区画整理事業との十分な連絡調整を図るなかで敷地面積の拡張のほか、施設の建設に向けた取り組みを積極的に行ってまいります。

## 浄化槽問題について

施設はわずかな補助しかありません。個別に合併浄化槽を設置する方式にしても多々問題が生じます。制度の拡充と対応についての見解を問う。

【答弁】河川浄化対策として、公共下水道の整備、合併処理浄化槽の設置や改築に対する補助など施策を積極的に進めております。現在、国の補助制度においては、大規模合併処理浄化槽の改築については50人槽以上に限られておりますので、補助制度の改正について、国・県へ要望してまいります。



## 交通対策について

【質問】昨年末のダイヤ改正で中央本線にセントラルライナーと呼ばれる有料の定員制列車が運転されるようになった。それに伴って、普通快速の本数減などサービスが後退した。JR東海にダイヤの改善を求めるべきだ。

【答弁】セントラルライナーの運行を核とした12月のダイヤ改正について、見直しを求めるかどうか、また、求める場合には

どのように求めていくのか検討していく必要があると考えています。具体的には、毎年市議会と連携して実施しているJR東海への要望活動の一つとして検討を行い、対応してまいります。

## 高齢者福祉の充実について

【質問】介護保険制度に伴い、高齢者の生きがいづくりと、社会参加促進のために、今年度より福祉の里や老人憩いの家などでミニデイサービス事業が実施されるが、どこで開催され、今後、拡大・充実させていく考えはあるのか問う。

【答弁】ふれあいミニデイサービス事業は、平成12年度から市社会福祉協議会などの団体に委託して、身近な老人憩いの家やふれあいの家など、2か所程度で試行的に実施してまいります。今後は、12年度の実績や利用者

の動向等を見極めながら、事業の拡大に努めてまいりたいと考えております。

## 光公害対策について

【質問】パチンコ店やゴルフ練習場などの夜間の光は、人や農産物に被害を与えます。光公害の対策を求めます。特に東名インターチェンジ北側の大泉寺町のパチンコ店は、夜通し回転し、遠方まで放つ強い光線の規制はできないですか。

【答弁】光害については、大気汚染などの公害とはなっておりません。従って、苦情については、発生源の事業者に対応をお願いしています。現在、環境基本計画の策定を進めておりますが、この問題について市民や事業者の皆さん、さらに学識経験者の意見を聞く中で、今後の対応などを検討してまいります。

## 掲載以外の主な質問項目(質問順)

- 里山保全に対する考え方について
- 次世代焼却炉の研究について
- 電線などの地中化(電柱の撤去)による歩道整備について
- 子どもの心を育てる読書運動推進について
- 市民参画のプラン作りについて
- 少子化対策について
- 細菌「セパシア」について
- 職員人事について
- 介護保険料減免、市独自の取り組みと低所得者対策について
- 老人の健康対策について

請願審議

第1回定例会に提出された請願は3件で、第1日目の本会議に上程された後、委員会に付託され慎重に審査が行われました。その後、3月21日の本会議で委員長の審査結果報告の後、採決され、結果は次のとおりです。

国民健康保険税の引き上げ中止を求める請願書（提出者〃春日井民主商工会会長外）

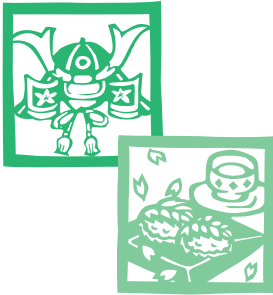
不採択

学校給食の充実・発展に関する請願書（提出者〃日本自治体労働組合総連合春日井市職員労働組合執行委員長外）

不採択

「30人以下学級の早期実現を求める」請願書（提出者〃春日井・30人以下学級を実現する会代表外）

不採択



市議会のおはなし

市議会は、市民の代表として選ばれた議員が、条例や予算・決算など市民にとって大切な事項について、質疑などを行って、

最終的な意思決定を行っています。今回の第1回定例会（3月議会）を例にとって、その流れを簡単に紹介します。

定例会の流れ

本会議（傍聴できます）

《開会》  
議員定数の半数以上の出席が必要です。

《市長の市政方針説明》

《代表質問》  
会派代表者が市長の市政方針説明に対し、質問を行います。（注）

《議案の提案理由説明》  
上程された議案の説明が行われます。

《質疑》  
議案の提案理由説明に対し、質疑を行います。

《委員会付託》  
議案をさらに詳しく審査するために、各所管の常任委員会に付託します。

委員会

（委員長の許可を受けた方が傍聴できます）

常任委員会

- 総務委員会
- 文教経済委員会
- 厚生委員会
- 建設委員会

付託された議案、請願を専門的に審査します。

（注）《市長の市政方針説明》及び《代表質問》は、3月議会に行います。

本会議（傍聴できます）

《一般質問》  
議員が議案以外の市政全般について、質問を行います。

《委員長報告》  
各委員長が、委員会での審査経過と結果を報告します。

《討論》  
議案に対して賛否の意見を述べます。

《採決》  
議案について賛成か反対か、議会としての意思を決定します。

《閉会》  
議案が採決された後、閉会します。採決の結果を、市長に送付します。

編集後記

市議会だよりも発行ごとに様々な工夫をし、表紙の写真から編集後記に至る内容の中で、四季の変化や世論の推移を見ながら、いかに市民の皆さんに目を通していただけるか編集子は考えます。

本号をお手にされる頃は、第15期市議会議員も1年が過ぎて、5月の役員選出を終え、各常任委員会構成も決まり、新しい活動に入っています。編集委員会も新しい委員の英知を結集し、皆さんに親しまれる紙面づくりを目指したい。

編集委員一同



編集風景